

会議録	
名称	令和3年度1月 富士見市図書館協議会
開催日時	令和4年1月28日(金) 午前10時00分～11時30分
場所	中央図書館 視聴覚ホール
出席者	<p>○図書館協議会委員 出井隆志委員長 檜山美智子副委員長 小森和雄委員 野瀬武博委員 野澤節子委員 渡邊知広委員 伊垣容子委員 木村多喜男委員</p> <p>○教育委員会生涯学習課 堀副課長 古川主査 石井主任</p> <p>○図書館 長谷川中央館館長 田畑副館長 大里鶴瀬西分館長 下川ふじみ野分館長</p> <p>○指定管理者 (株)図書館流通センター 東日本支社埼玉営業部 服部</p>
欠席者	辻口幸恵委員 金高陽子委員
公開・非公開	公開
傍聴	1名
次第	<p>1. 開会 2. 各館事業報告(令和3年10～12月)中央・鶴瀬西・ふじみ野 3. 議題『富士見市制50周年記念事業と図書館まつり2022』 4. その他(次回開催日程) 5. 閉会</p>
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・富士見市図書館協議会 令和3年度1月定例会次第</li> <li>・富士見市制50周年記念事業+図書館まつり(案)</li> <li>・さざなみだより(2021.12～2022.2月号)</li> <li>・とびらしんぶん(2021.12月号 2022.2月号)</li> <li>・BOOK ADVENTURES(236号)</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・つるせにししんぶん (2021. 11～2022. 1 月号)</li> <li>・ぶんちゃんしんぶん (2021. 11～2022. 1 月号)</li> <li>・令和 3 年 10 月～12 月活動報告 (中央図書館・鶴瀬西分館・ふじみ野分館)</li> </ul>
会議録確認	出井委員長
議事内容	
<p>1. 開会 (田畑副館長)</p> <p>2. 各館から事業報告 (令和 3 年 10～12 月)</p> <p>&lt;中央図書館&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料に基づき報告</li> </ul> <p>10 月までは、緊急事態宣言の為、おはなし会・映画会が 1 回ずつだったが、11 月からはまん延防止になり、実施回数が増えた。その他、団体貸出冊数の数、障がい者サービスの数字を記載している。</p> <p>この時期は、図書館見学を行った。2 グループに分けて、児童班スタッフが館内を案内し、質問に答え、本の並べ方の説明を行った。時間があれば本の読み聞かせも行った。</p> <p>その他ブックスタート、ミニコンサートをを行った。ブックスタートは、健康増進センターで 1 歳児健診の時に絵本を渡している。ミニコンサートは、定員 24 名。検温、手指消毒、ソーシャルディスタンスなど感染対策して行った。</p> <p>12 月に、埼玉県 150 周年記念の展示を行って欲しいと県から依頼があり、埼玉の本を展示した。評判が良く、多くの貸出につながった。</p> <p>自主事業である、令和 3 年読書コンクールのポップ作品の展示は、毎年レベルアップしてきていて、審査が大変そうであった。11 月に表彰式を行い、受賞作品は分館にも飾った。</p> <p>12 月にはクリスマス工作会を行った。中央館はコロナの影響で、一般向けの講座ができなかったため、午前を親子の部、午後を大人の部として募集をしたが、午後の大人の部の応募がなく、結局、小学校高学年以上の回となった。親子の部は好評で、1～2 歳の子も上手に糊を使う様子が見られた。</p> <p>クリスマスイブにはクリスマスおはなし会ができた。アンケートも好評で、また開催して欲しいという意見が多数あった。</p> <p>初めての試みで、バリアフリー映画会を行った。視覚・聴覚障がいの方にも楽しんでもらえる映画となっている。今回は「ばれっと」でチラシを配り周知した。好評だったので今後も行っていきたい。</p> <p>また、利用者アンケートは、総評以外が出来上がったので回覧します。ご覧になってください。</p>	

### <質疑応答>

委員：諏訪幼稚園の来館時に読み聞かせを「あいあい」がしている。図書館見学に入っていないのは何故か。

図書館：図書館見学は小学生のことを記録している。今後幼稚園の見学も記録していくよう検討する。

委員：外部連携ブックスタートは、どういうものか。参加人数 55 組とあるがその人たちが図書館に来るのか。

図書館：健康増進センターで1歳児健診時に行っており、図書館員がそこに行つて絵本を渡している。健診に参加できなかった方は、図書館に来ていただき、絵本をお渡ししている。

委員：テーマ展示がすごい。続けてほしい。また、今までのこともこんなにやっているということ来館者にわかるようにすると思う。

図書館：過去分もまとめて貼るなど検討する。

### <鶴瀬西分館>

10月は一般向け「飾り結びワークショップ」を行った。手元の様子を壁に投影しながら行い、わからないところは近くで説明した。1月の折り紙講座で作ったお雛様の飾りの上は、飾り結びを使っている。手芸好きの方が集まっている講座なので、手芸講座は、段階を経て挑戦していけるものになると良いと考えている。

科学講座「いろいろなものを測ってみよう」は、今回は物差しや定規を使って測る講座で、自分の体を測ってみたり、ノギスを工作キットで作ってみたり、そのメモリの読み方などを学んだり、出来上がったものでも身近ないろいろなものを測ってみた。ノギスは、内径外径も測れて、新たな発見だった。受講した子どもたちは、科学に興味のある児童だったようで、質問の切り口もおもしろく、またとても熱心で、講師の映す映像も興味深そうに前まで行って見ている。

オリンピック年だった今年、聖火ランナーが鶴瀬西分館近くの「つるせ西ゆうゆうの丘公園」から出発しているので、写真をお借りして、聖火の様子やセルビア選手の様子など、オリンピック・パラリンピックの展示を行った。

館内では、電子図書館のはじめての使い方のご案内展示をしたり、利用者からめずらしいサボテンの花の写真をお借りしたり、本とともに紹介した。また利用者から、西ちゃんのイラストをいただき、カウンターで掲示している。

11月は、わらべうた講座、また中央館でも行っていた「ひゃっか王からの挑戦状」を行った。これはポプラディア百科事典が新しくなったタイミングでの出版社からの企画である。参加人数は少なめであったが、午前・午後とも図書館員とマンツーマンで本の使い方などを聞くことができ、贅沢な講座になったと思う。百科事典は4年生で使用することと、学校の授業でどのように使用しているのかを先生に伺うこともできたので、今後役に立てていきたい。

「つるせ台小秋まつり」では、いつもは学校に行つて午前中の工作を行つてきたが、去年はコロナウィルス感染症で中止になった。今年はPTAの方からオンラ

インで行いたいとご相談があり、1～2年生用、3～4年生用の切り紙の動画配信を行った。PTAの皆さんと行ったことで、子どもたちへの伝え方の工夫をいろいろ伺うことができて、こちらも勉強になった。配信は2日にわたり、9時から21時まであり、視聴回数も切り紙は385回あった。切り紙の本も購入し、貸出できるように準備した。

その他追悼展示「瀬戸内寂聴」、富士見市読書コンクールポップ巡回展示などを行った。

12月、学校連携では、このところコロナウイルス感染症で出来なかった「図書館の仕事をやってみよう！」の職場体験を行うことができた。今までは募集対象を図書委員会としていたが、学校から広く募集してはどうかという意見をもらって高学年を対象に募集した。応募が募集を上回る結果となった。内容は図書館の仕事体験や本の装備体験、新年に向けた福袋のコラボ企画となっている。ある程度選んだ本の中から、本の組み合わせをしてもらい、番号をひいてもらいその番号の福袋を持って帰ってもらう。また袋の中には職場体験で書いてもらった楽しくなるおみくじ、ハッピー吉、ワンダフル吉、グレート吉、ファビラス吉などと書いてある用紙に楽しくなることを書いてもらった。

富士見台中学校の1年生の皆さんにアンケートを行った。現在集計中である。

クリスマスには、紙で150cmぐらいのクリスマスツリーの枠を作り、クリスマスオーナメントを書いてきてもらい飾るという企画を行った。

クリスマススペシャルおはなし会では、つるせ台小学校のお母さんから英語を使った何かを図書館でできないかと相談され、クリスマスのおはなし会で英語の本も読むおはなし会を行った。このところコロナウイルスのせいのおはなし会の人数も少なくなっているが、子ども食堂でおはなし会のちらしを配ってもらい初めて人数が定員になった。子どもたちの様子は、日本語でも英語でも特に変わらず聞いてくれていた。学校に確認すると1年生から英語の勉強をしているとのことだった。私たちも勉強していかないとと思った。資料の後半は、展示や主だったものの報告書を添付させていただいた。

#### <質疑応答>

委員：YAアンケートを行ったとのことだったが、どこかで見られるのか。

図書館：現在、集計中である。富士見台中学校は、つるせ台小学校から進学する児童も多く、小学生から中学生に移行して読書活動がどうなっているかを調査したが、アンケートと言いながら利用案内も兼ねている。昨年だとタブレット読書に興味があるのかなどを聞いている。今年は実際に電子図書館の導入があったので、初回は手続きがいるが、その後は使えるなどその案内も兼ねている。現在集計中ではあるが、結果をお知らせしたい。

委員：つるせ台小学校の保護者つながりとは、つるせ台小秋まつりの関係か。

図書館：つるせ台小秋まつりの関係ではなく、他の国でも図書館で活動したことがあるという方からの申し出によりおはなし会が実現できた。

委員：利用者で企画したということか。

図書館：その通りである。1月は高校生が図書館サポーターとして参加したいと言ってきてくれた。

委員：一般展示がとても良い。借りる当てがなく行ったときも、借りる意欲に繋がっている。何を讀もうか困るときにとっても助かる。展示棚の横にブックトラックを置いて展示してみてもどうか。冊数を増やせるのではないか。

図書館：検討する。

委員長：全体のアンケートやYAアンケートなど、委員の皆さまが関心を示しているので、図書館の負担にならない程度で報告していただくと良い。

委員：報告書の形式を全館で揃えていくと良い。席数は増やしたのか。

図書館：コロナ禍になり、感染対策として通常の半数の席数で行っていたが、間隔のある所は少し増やした。

委員：稼働があったということか。

図書館：そうである。

委員：つるせ台小秋まつりのオンライン工作会の視聴回数について、報告があるが小学生は何人いるのか。

図書館：だいたい600名ほどだと思う。

委員：そのうち385人という結構見ていることになる。

委員：福袋は、何組作ったのか。

図書館：0・1・2才用、幼児、小学校の低・中・高、YA、一般で各5組。全部で35組作った。0・1・2歳用は1組余った。選んだ本で、福袋に入らなかった本は、「残り物には福がある」として展示をし、これも貸し出しに繋がっている。

委員：おはなし会も来てくれているが、10月がガクンと下がっている。12月は上がっている。

図書館：学童は、支援員さんの手があれば連れてきてくれる。集会室の利用人数もまだ半分の対応である。

委員：12月に書いてあるOPACとは何か。

図書館：検索機のことである。全部で3台あるが、コロナウィルス感染症対策として2台の稼働としている。

委員：何を検索するのか。

図書館：市内の所蔵本が検索できる。

委員：学校とは繋がっているのか。

図書館：いない。

委員：今後繋がっていくのか。

市 : ホームページをひらけば、見ることはできる。担当は学校教育課。まだすべての学校がシステム化していない。考えているとは思いますが、直近では無理だと思う。

#### <ふじみ野分館>

10月1日から緊急事態宣言が解除され、公共施設の利用時間が午後5時閉館だったのが通常通りになり、ふじみ野分館も7時まで開館ができるようになった。これまでのイベントが延期となった分、この10~12月はイベントが多かった。

おはなし会について、にこにこひろばは、事前申し込み5組で行っている。ふじみ野児童館は10月11月は中止。12月から再開した。また、にこにこひろばでは交流センターと合同で12月にクリスマス会を行った。事前申し込み制で20人参加。楽しく過ごすことができた。ぶんちゃんひろばについては、10月は磁石を使った科学工作、11月は人材バンク登録の方で忍者、12月は3年越しの開催となった跡見学園女子大学かるた部の方に競技かるたと百人一首についても話をしてもらい、デモンストレーションも行った。スタッフが仕切るのではなく、人材バンクや外部から来ていただくと専門的な話を伺えたり、スタッフも勉強になる。

映画会とミニ工作会の組み合わせは人気なので、これからも増やしていく。

団体貸出は、にこにこひろば、プレイルーム閲覧用と、慶櫻ふじみ保育園に絵本を届けている。

一般向け自主事業はこの期間5回行った。そのうち新規講座として、マナー講座とアロマ講座を行った。マナー講座は生活に関わるものであり、今回は広く全般的なテーマを選んだ。また女性をターゲットとする講座が多いが、マナー講座は女性男性を問わず広く応募がある講座となった。終了後のアンケートでは、それぞれの年齢に合ったものを聞きたいという意見があり、来年度以降検討する。アロマ講座は、中学生以上を対象に募集した。中学生も2名の参加があった。YA世代の参加するものが無いので、良い機会となった。

児童向け事業については、読書コンクールに応募された近隣学校と表彰作品の展示を行った。また自主事業では11月3日、はらっぱおはなし会を行い、例年の5月の子どもの日よりも11月の方が、公園に親子がたくさんいらしたので今後も行っていきたい。12月5日のエアロブックスは、年4回定期開催の3回目。1カ月前に募集をし、すぐに定員いっぱいになるのだが、当日の欠席も多かったので、対応を検討する。

ふじみ野交流センターとの連携事業として、ふじみ野じゅくにおいて「百人一首を一皿に表す」という題で企画協力をした。その中で30分お時間をいただき、図書館からもブックトークを行った。大人向けでは初めてだったが、紹介した本を借りてくださったり、本に興味を持っていただく事ができ良かった。今後10分程度本の紹介をときどきしてほしいとのこと。

学校連携では、ふじみ野小特別支援学級の来館があった。事前に利用カードを作成し、読み聞かせ、館内案内、貸出を行った。2年生は図書館見学を行い、3ク

ラスに分かれて説明した。また今回、勝瀬小学校は初めてまちたんけんで来館された。

その他、図書館に来る時の楽しみにしてもらえるように、館内企画で折り紙を折って貼るなど児童が参加できるものを行っている。

また12月の終わりより、ポプラディアの企画を行っている。未就学児の来館が多い館なので、来館した親子に百科事典を引いてもらう体験をしてもらっている。

ふじみ野児童館との連携では、アニメーションと赤ちゃん講座を行った。

#### <質疑応答>

委員：一般講座は、定員を超えたから6名でお断りしたということか。

図書館：そうである。

委員：枠を超えたときは、先着順なのか。

図書館：申込順である。

委員：学校から見学に行くのは小学2年生か。

図書館：2年生で、「まちたんけん」や「みんなでつかうまちのしせつ」の単元がある。

委員：市内で来られない学校が11校のうち3校ある。何かの方法で来ることができないか。

図書館：来館している学校のうち2校は、社会科見学のルートの中に図書館を入れてバスで寄ってくれている。時間も短かったが、そういう工夫もある。

委員：教育委員会になると思うが、学校と図書館との橋渡しをしてくれると良い。

委員：図書館は、学校教育課直属でないので、学校連携が難しいと思うが、市内2年生で同じような環境で場面を作ってもらえないか。

委員：生活科のまちたんけんで図書館に来るそうだが、それとは別に情報教育への取り掛かりとして、地域の図書館を使えるよう学校教育課へ働きかけをする。その他にも市として生涯学習課から繋がると良い。生涯学習推進基本計画にもあるように、生涯学習支援を広く計画しているとのことなので、生涯学習課からも働きかけてほしい。

図書館：貴重なご意見ありがとうございます。西分館のアンケートについて補足すると、YA ヤングアダルトとはティーンエイジのことで、一番図書館から遠ざかる世代であり、なかなか図書館に来られない。西分館では、イベントの企画を10周年の時にやってもらった。本来はその子たちに、企画運営をやってもらいたい。中央館でもそのような取り組みをやっていきたい。アドバイス、応援していただきたい。

委員：ふじみ野分館も中央館に書式をあわせてほしい。

委員：ふじみ野は毎月イベントがあり、図書館に行くとか何かやっているということが良いか。事前申し込み制で同じ方の利用になっていないのか。

図書館：同じ方もいるが、新規の方もいる。

委員：大人の読み聞かせはすごく良いと思う。あいあいも中央館と相談して行う。

### 3. 議題『富士見市制 50 周年記念事業と図書館まつり 2022』

図書館：4月に富士見市制 50 周年にあたり、今年 11 月に図書館まつりを行いたい。市民も巻き込むイベントにしたいと思っている。講演会を行いたい。

講師、内容についてまた資料にあるようなもの以外に何かあればご意見を伺いたい。

委員：図書館まつりのイベント、市民対抗のビブリオバトル、フリーマーケット、コーヒー対決、大人司書は、1 日体験を大人がやる。富士見市のことをどのくらい知っているのか競うというようなイベントが他にないか。

委員長：講演会は 1 つと考えているが、どうか。

委員：50 年というながれを意識したらどうか。富士見市クイズ検定もあるが、最近は少し下火である。市民大学も本を 3 冊作っている。タイアップしてやったらどうか。歴史、動物からでもよいのではないか。

委員：どれも市民にとって関心の高いものであるが、富士見市の第 6 次基本構想において市が注力していく分野を講演テーマとしても良いのではないか。

図書館：具体的に依頼してほしい方はいるか。

委員：特に無いが、配布資料に記載されたテーマ案に即した人物を探したらよいのではないか。

図書館：市民ということか。

委員：講演者として著名な方ではなく、市内で熱心に活動されている市民に講演をお願いするのもひとつと思う。

委員長：50 周年として市でやる事業があると思うので、類似のものではないほうが良いのではないか。

委員：50 周年、政策企画でやっていて、担当課にこれを投じている。だから講演会も市全体でやると図書館が沈んでしまう。ある程度図書館に関係した内容にしたらどうか。50 年の図書館の歩みとか。

委員：すみわけをしたらどうか。

委員：フリーマーケットは、人の賑わいがある中でやった方がよいのではないか。

図書館：基本、図書館まつりという名前だが、市制 50 周年の冠を付ける。イベントではカプセルを開けることがひとつある。講演会を考えてはどうか。子育て世代にも力を入れている富士見市なので、子育て世代に向けた人も考えてみてはどうかと考えている。

図書館：図書館の利用が多い世代は、60～70 歳である。健康長寿のテーマもいいのかなと考えている。

委員：市民参加で盛り上げたい。図書館でいつもやっているような自主事業を図書館まつりでやるのはどうか。また、市民さんの語り部。公民館だよりを使って募集するのはどうか。健康問題もテーマになる。これも連携するといい。

図書館：ありがとうございます。



委員 : 講演会だが、本が好きという人が多い。富士見市は、読書を推進している市なので本の楽しさを伝えられる企画がよい。ビブリオバトル図書館司書対決など。

委員 : 50年前に何があったかも魅力があると思う。

図書館 : 図書館向け、市制 50 周年向けの両方の考え方がある。西分館の 10 周年事業は手作り感があつた。

委員 : 講演会ではなく、図書館の運営に携わる方や行政の方、学識者、図書館を利用する一般の方などでのパネルディスカッション、「これからの図書館」についてはどうか。

図書館 : 出版社の社長を呼んでのトークイベントなどは可能である。

委員 : 読み聞かせもできるのか。できたらボランティアも参加できるのか。

図書館 : もちろんできる。また市長、教育長にも読んでいただくなど。

委員 : 日程はいつか。

図書館 : 11 月第 2 週土曜日半日、日曜日を予定。

委員長 : この会議の議事録は、公開前に各委員にも確認してもらったらよいのではないか。

図書館 : 議事録が完成したら、皆さんにもデータを送らせていただく。

#### 4. その他（次回開催日程）について

令和 4 年 5 月 20 日（金） 午前 10 時から。

#### 5. 閉会